

文学部

国語教育学科 英語教育学科

人材養成等教育研究に係る目的

文学部は、全人教育の理念のもと、国際社会の一員として社会に貢献できる言語運用能力と言語技術、および論理的思考力と柔軟な対応力を備えた人材養成を目指している。そのため、言語・文化に関する専門的知識、言語運用能力（日本語・英語）、論理的思考力というグローバル社会が求める基礎力を育成するための学科構成およびカリキュラム編成を行っている。

国語教育学科は、国際社会の一員であるとの自覚をもち、母語としての日本語の特質について深い理解を有し、物事を論理的かつ批判的に思考する力を身につけ、的確な言語運用能力によってグローバル社会に貢献できる人材を養成することを目的として、「言語表現コース」と「国語教員養成コース」を置く。

「言語表現コース」では、豊かな言語観・文化観と確実な言語技術を有し、論理的・批判的思考を基盤にグローバルな社会に貢献することができる人材を、「国語教員養成コース」では、社会で必要とされる実践的な国語の能力と言語文化に関する専門的な知識を駆使して授業ができる能力を十分に有し、中学校・高等学校等の教育機関における国語教育に貢献することができる人材を養成する。

英語教育学科は、「英語教員養成コース」と「ELFコミュニケーションコース」の2領域で構成され、グローバル化に伴う言語や文化の多様化に対応できる資質・能力を育成することを旨とし、国際コミュニケーションのための英語運用能力を身につけることを共通目標としている。

「英語教員養成コース」では、英語教員に求められる豊かな言語観・文化観と指導力を、「ELFコミュニケーションコース」では、国際共通語としての英語コミュニケーション能力を育成し、積極的に国際社会に貢献することのできる人材を養成する。

文学部 ディプロマ・ポリシー

文学部は、全人教育の理念のもと、国際社会の一員として貢献できる水準の言語運用能力（日本語・英語）と論理的な思考力を身につけ、社会の多様な場面に的確に対応できる職業人あるいは高い指導力を備えた国語教育や英語教育の専門家を養成することを目指します。

文学部で学位を取得するためには、次の能力を示すことが求められます。

- ① 言語や文化に関する専門的知識を修得し、適切に用いることができる。【知識・理解】
- ② 修得した言語運用能力と言語技術を用いて自分自身の思考を論理的に表現するとともに、多角的な視野を持って主体的に問題を解決することができる。【汎用的技能】
- ③ 修得した言語運用能力と言語技術を用いて中学校・高等学校等で授業ができる能力を十分に有している。【汎用的技能】

〔国語教育学科〕

国語教育学科が重視する学士力は以下の項目であり、これらを身につけることが卒業時の到達目標である。

- ① 社会で必要とされる言語技術を修得し、時宜に応じて適切に運用することができる。
- ② 日本語の特質について深い理解を有し、物事を論理的かつ批判的に思考する力を身につけ、言語による的確なコミュニケーションをはかることができる。
- ③ 言語や文化の多様性を理解して尊重し、問題解決のために多角的な視野をもって主体的・積極的に行動することができる。
- ④ 「聞く」・「話す」・「読む」・「書く」という日本語運用能力を実践的に発揮できる。
- ⑤ 豊かな言語観・文化観と確実な言語技術を有し、論理的・批判的思考を基盤にグローバルな社会に貢献することができる。または、社会で必要とされる実践的な国語の能力と言語文化に関する専門的な知識を駆使して授業ができる能力を十分に有し、中学校・高等学校等の教育機関における国語教育に貢献することができる。

〔英語教育学科〕

英語教育学科が重視する学士力は以下の項目であり、これらを身につけることが卒業時の到達目標である。

- ① 社会で通用する高度な英語運用能力を修得し、時宜に応じて適切に運用することができる。
- ② 日英両語で運用される専門科目を学修し、その成果を卒業研究で示すことができる。
- ③ 自らの研究・考察の成果を口頭および文書で論理的に表現し、実践に活かすことができる。
- ④ 言語と文化の多様性を理解して尊重し、問題解決のために国際的な視野をもって主体的・積極的に行動することができる。
- ⑤ 国際共通語としての英語の高度なスキルと、英語圏の言語や文化に関する専門的な知識を駆使して授業ができる能力を十分に有し、中学校・高等学校等の英語教育に貢献することができる。または、国際共通語としての英語の高度なスキルと、多言語・多文化に関する専門的な知識を駆使して円滑にコミュニケーションをとることができる能力を十分に有し、国際社会に貢献することができる。